



三菱重工East硬式野球部「第95回都市対抗野球大会」で初優勝

2024年度 中間報告書

2024年4月1日～2024年9月30日

概況

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2024年度中間連結会計期間の概要についてご報告申し上げます。

取締役社長 泉澤 清次

1. 経済情勢

当中間連結会計期間における世界経済は、一部の地域において足踏みがみられるものの、持ち直しています。また、我が国経済も同様に、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復しています。我が国経済の先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

2. 経営成績の概要

このような中、当社グループの当中間連結会計期間における受注高は3兆3,835億円、売上収益は2兆2,981億円、事業利益は1,884億円、税引前中間利益は1,682億円となりました。また、親会社の所有者に帰属する中間利益は1,071億円となりました。

当年度の中間配当金につきましては当第2四半期までの累計決算実績及び年間の業績見通しを考慮し、2024年11月5日の取締役会の決議により、1株につき11円の配当とし、2024年12月5日からお支払いを開始することとさせていただきます。

【2024年度中間期の連結業績】

	前中間連結会計期間 (2023年4月1日～ 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (2024年4月1日～ 2024年9月30日)	増減額
受注高	31,370億円	33,835億円	2,464億円
売上収益	20,692億円	22,981億円	2,288億円
事業利益	1,009億円	1,884億円	874億円
親会社の所有者に帰属する 中間利益	919億円	1,071億円	151億円

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)

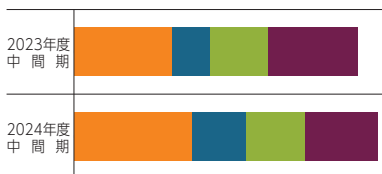
中間期連結決算の概要

ハイライト

- 受注高：33,835億円（前年同期比：+2,464億円）**
 エナジー、プラント・インフラ、物流・冷熱・ドライブシステムの3セグメントが増加。
 前年同期に複数の大型案件を受注した防衛・宇宙は減少したが、エナジーではGTCCや航空エンジン、プラント・インフラでは製鉄機械が受注を伸ばした。
- 売上収益：22,981億円（前年同期比：+2,288億円）**
 エナジー、プラント・インフラ、航空・防衛・宇宙の3セグメントが前年同期比増収。
 特に防衛・宇宙が、航空機・飛昇体を中心に売上収益を大きく伸ばした。
- 事業利益：1,884億円（前年同期比：+874億円）**
 エナジー、プラント・インフラ、航空・防衛・宇宙の3セグメントが前年同期比増益。
 売上増・利益率改善、為替円安影響等が寄与し、事業利益は前年同期比87%増の1,884億円となった。
- 当期利益：1,071億円（前年同期比：+151億円）**
 事業利益が大きく増加したことから、期末日レートの円高に振れ為替換算差損が生じたものの、前年同期比17%増の1,071億円となった。

部門別の決算実績

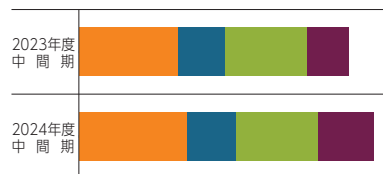
受注高 **33,835** 億円



(2023年度中間期)※(2024年度中間期)

■ エナジー	10,811億円	13,067億円
■ プラント・インフラ	4,227億円	5,994億円
■ 物流・冷熱・ドライブシステム	6,500億円	6,576億円
■ 航空・防衛・宇宙	9,994億円	8,021億円
その他	△162億円	175億円

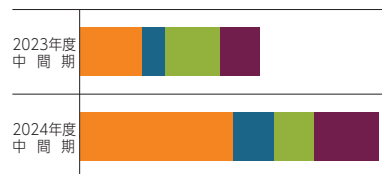
売上収益 **22,981** 億円



(2023年度中間期)※(2024年度中間期)

■ エナジー	7,609億円	8,321億円
■ プラント・インフラ	3,670億円	3,791億円
■ 物流・冷熱・ドライブシステム	6,333億円	6,328億円
■ 航空・防衛・宇宙	3,189億円	4,317億円
その他	△109億円	222億円

事業利益 **1,884** 億円



(2023年度中間期)※(2024年度中間期)

■ エナジー	417億円	1,032億円
■ プラント・インフラ	160億円	281億円
■ 物流・冷熱・ドライブシステム	367億円	269億円
■ 航空・防衛・宇宙	274億円	440億円
その他	△210億円	△138億円

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)
 ※2023年度実績は、2024年4月1日の組織再編の影響を2023年度に遡り反映した金額を記載。

中間連結財政状態計算書の要旨

(単位：億円)

資産の部	前連結 会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結 会計期間 (2024年9月30日)
流動資産	34,199	37,014
現金及び現金同等物	4,312	5,358
営業債権及びその他の債権	9,160	9,140
その他の金融資産	397	423
契約資産	7,763	7,778
棚卸資産	9,745	11,014
その他の流動資産	2,818	3,299
非流動資産	28,363	27,756
有形固定資産	9,084	9,115
のれん	1,724	1,693
無形資産	937	854
使用権資産	934	874
持分法で会計処理される投資	2,689	2,545
その他の金融資産	5,381	5,043
繰延税金資産	2,970	3,098
その他の非流動資産	4,639	4,531
資産合計	62,562	64,770

負債及び資本の部	前連結 会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結 会計期間 (2024年9月30日)
流動負債	29,405	30,753
社債、借入金及びその他の金融負債	3,792	5,523
営業債務及びその他の債務	9,588	8,087
未払法人所得税	552	561
契約負債	10,951	12,567
引当金	2,162	1,890
その他の流動負債	2,358	2,121
非流動負債	9,550	10,246
社債、借入金及びその他の金融負債	7,637	8,296
繰延税金負債	99	87
退職給付に係る負債	731	746
引当金	797	756
その他の非流動負債	284	360
負債合計	38,956	40,999
親会社の所有者に帰属する持分合計	22,446	22,588
資本金	2,656	2,656
資本剰余金	411	446
自己株式	△48	△43
利益剰余金	14,332	15,054
その他の資本の構成要素	5,093	4,475
非支配持分	1,160	1,181
資本合計	23,606	23,770
負債及び資本合計	62,562	64,770

中間連結損益計算書の要旨

(単位：億円)

	前中間連結 会計期間 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)	当中間連結 会計期間 (2024年4月1日から 2024年9月30日まで)
売上収益	20,692	22,981
売上原価	16,752	18,011
売上総利益	3,940	4,969
販売費及び一般管理費	3,118	3,472
持分法による投資損益	13	114
その他の収益	271	385
その他の費用	97	112
事業利益	1,009	1,884
金融収益	399	62
金融費用	71	263
税引前中間利益	1,337	1,682
法人所得税費用	291	523
中間利益	1,045	1,158
中間利益の帰属：		
親会社の所有者	919	1,071
非支配持分	126	87

(注) 基本的1株当たり中間利益* 27円36銭 31円86銭
(親会社の所有者に帰属)

中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：億円)

	前中間連結 会計期間 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)	当中間連結 会計期間 (2024年4月1日から 2024年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,812	△88
投資活動によるキャッシュ・フロー	△0	△768
財務活動によるキャッシュ・フロー	960	1,991
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	372	△88
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△480	1,045
現金及び現金同等物の期首残高	3,476	4,312
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,996	5,358

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)

会社の概要

概要

社名	三菱重工業株式会社	資本金	265,608百万円 (2024年9月30日現在)
本社	東京都千代田区丸の内三丁目2番3号 〒100-8332 電話番号：03-6275-6200	従業員数	22,375名 連結：77,778名 (2024年9月30日現在)
創立	1884年7月7日	ホームページ	https://www.mhi.com/jp
設立	1950年1月11日		

取締役

(2024年9月30日現在)

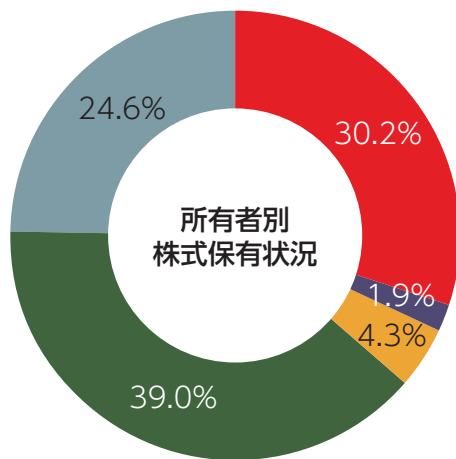
取締役会長	宮 永 俊 一
*取締役社長	泉 澤 清 次
*取締役副社長執行役員	加 口 仁
*取締役常務執行役員	小 澤 壽 人
取締役	小 林 健
取締役	平 野 信 行
取締役	古 澤 満 宏
取締役 常勤監査等委員	徳 永 節 男
取締役 常勤監査等委員	藤 沢 昌 之
取締役 監査等委員	鶴 浦 博 夫
取締役 監査等委員	森 川 典 子
取締役 監査等委員	井 伊 雅 子

(*印は、代表取締役)

株式の状況

(2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	6,000,000,000株
発行済株式総数	3,373,647,810株
株主数	497,778名



■ 金融機関
■ 証券会社
■ その他の法人
■ 外国法人等
■ 個人・団体等

最近の主なニュースとお知らせ

核融合実験炉ITER向けダイバータ外側垂直ターゲット12基受注及びプロトタイプ完成

三菱重工業は、南フランスで建設中の核融合実験炉ITER（イーター）に用いられる、ダイバータの重要な構成要素である「外側垂直ターゲット」12基の製作を国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（量研）から新たに受注しました。2020年から取り組んできた、外側垂直ターゲットの実機大モックアップとなるプロトタイプの製作にもこのほど成功し、実機量産化に向けた準備が整いました。外側垂直ターゲットは、ITERの炉内機器の中で最も製造が困難とされるものであり、当社がこれまでに培った高難度製作物の量産化技術が評価され、ITERで使用される全54基のうち量研が発注済の18基全ての製作を当社が担います。当社は引き続き、国際プロジェクトであるITER計画を積極的に支援することで核融合炉の実現に貢献していきます。



外側垂直ターゲットプロトタイプ外観

小型CO₂回収装置「CO₂MPACT™」シリーズのラインアップを刷新

三菱重工業は、多様な産業分野への適用拡大を目的に商用化した小型CO₂回収装置「CO₂MPACT™」の中型クラスとして、標準設計ベースの量産型フルモジュールコンセプトを採用したニューモデルを投入しました。コンテナサイズのモジュール化及び工場でのプレファブ化^(※)を90%以上に拡大したことで、現地工事の建設作業の大幅低減による工期短縮を実現します。中型クラスの投入により、CO₂回収量0.3トン/日の「CO₂MPACT™モバイル」と、1~200トン/日の「CO₂MPACT™フルモジュール」のラインアップとなります。当社では、導入計画からアフターサービスまでの「お客様サポート体制」を一層強化し、幅広い産業の低・脱炭素化に貢献していきます。

^(※) 事前に工場では部材を加工し、現地で組み立て及び据え付けを行う工法



(左から)CO₂MPACT™フルモジュール・CO₂MPACT™モバイル

R32冷媒採用のビル用マルチエアコン「KXZ3シリーズ」を追加し、海外市場向けに展開

三菱重工サマルシステムズ（MTH）は、R32冷媒を採用した海外市場向けビル用マルチエアコン「KXZ3シリーズ」をラインアップに追加し、量産を開始しました。地球温暖化係数が、従来機のR410A冷媒の約3分の1であるR32冷媒を採用したことで、環境負荷低減に貢献します。さらにR32冷媒に対応した新型コンプレッサーや送風ファン、ベルマウスなどの構造を見直した新送風路設計により、「冷房期間エネルギー消費効率」が従来機から約18%向上し、さらなる省エネ化を実現しました。MTHは省エネ性と快適性が両立されたソリューションの提供を進めることで、世界的な取り組みが拡大しているカーボンニュートラルの実現に貢献していきます。



KXZ3シリーズ

H3ロケット、連続打上げ成功

2024年7月、H3ロケット3号機を種子島宇宙センターから打ち上げました。同年3月の試験機2号機に続く、2機連続での打上げ成功です。H3ロケットは、H-IIAロケットの後継機として、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）と三菱重工業が、日本の宇宙利用の自律性確保と国際競争力強化を目指して開発したもので、今回の連続成功により海外からも高い関心を得ています。今後も、製造記録やフライトデータを丁寧に確認、フィードバックすることで品質を安定させ、打上げの成功を積み重ねてお客様の信頼を獲得していきます。



三菱みなとみらい技術館へのご招待

三菱みなとみらい技術館は、明日を担う青少年たちが科学技術に触れ、夢を膨らませる場となることを願い開設されました。当社グループが手掛ける技術やSDGsの取り組みなどを映像や展示でご紹介しております。また、子どもから大人まで楽しく学べるイベントも開催しております。

所在地：横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号 KDX 横浜みなとみらいタワー内
アクセス：みなとみらい線「みなとみらい」駅5番けやき通り口より徒歩3分

JR根岸線／横浜市営地下鉄「桜木町」駅より徒歩8分

開館時間：平日 10：00～15：00（ただし、入館は14：30まで）

土日・祝日 10：00～16：00（ただし、入館は15：30まで）

休館日：毎週火曜日・水曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始及び特定休館日

お問い合わせ：電話番号 045-200-7351

ホームページ：https://www.mhi.com/minatomirai/

臨時休館日、開館時間等についてはホームページ、お電話にてご確認ください。



工場見学会のご案内

第36回工場見学会を下記のとおり名古屋航空宇宙システム製作所で開催いたします。多くの皆様のご応募をお待ちしております。

見学会概要

・見学場所 名古屋航空宇宙システム製作所（愛知県）

大江工場、飛島工場、小牧南工場を擁し、わが国における航空・宇宙産業のリーダーとして、防衛省向け及び民間向けの航空機的设计・製作・運用サポート並びにH3ロケットをはじめとする宇宙機器的设计・製作等を手掛けています。

・実施日時 2025年3月19日（水） 12：00～18：00（予定）

・対象者 2024年9月末時点で100株以上保有の株主様（同伴者1名様まで可）

・集合・解散 JR名古屋駅（予定）

・参加費 無料（ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。）



©JAXA

応募要領

・応募方法 右記二次元コード又はURL（https://forms.office.com/r/BYpK8zWKdm）より応募フォームにアクセスの上、必要事項をご入力ください。

・締切日 2025年1月5日（日）

・募集人数 80名様（同伴者を含む）



※当日の天候不良や各種感染症の状況等により、やむを得ず、開催を中止させていただく場合があります。

※複数ご応募いただいた場合は、応募方法にかかわらず1応募のみ有効といたします。厳正な抽選の上、当選発表につきましては、**当選者へのご連絡（2月上旬発送予定）をもって代えさせていただきます。**その際、当日の運営等詳細を併せてご連絡いたします。なお、落選された方への個別のご連絡はいたしませんのでご了承ください。

※ご応募により当社が取得する個人情報、本工場見学会を実施する上で必要な限りにおいてのみ使用いたします。

※ご見学時は、バスの乗り降りや階段の昇り降りがあり、1時間半程度工場内をお歩きいただくこともございますのでご了承ください。

※ご高齢の方のご参加の際には、同伴者を願います。また、未就学児のご参加はご遠慮いただいております。

※同業他社の方のご応募はご遠慮ください。

お問い合わせ先

三菱重工業株式会社 IR・SR室 SRグループ 電話番号：03-6275-6200 8：30～17：30（土・日、祝日、当社休日を除く）

株主メモ

■決算期……………3月31日

■定時株主総会……………開催期 6月下旬

■基準日……………定時株主総会議決権行使株主確定日
3月31日
期末配当金支払株主確定日
3月31日
中間配当金支払株主確定日
9月30日
その他の基準日
上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議により
あらかじめ公告して設定

■単元株式数……………100株

■公告方法……………電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。
※電子公告掲載ウェブサイト
<https://www.mhi.com/jp>

■株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
……………三菱UFJ信託銀行株式会社

■上記連絡先……………東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先及び電話照会先)
〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
電話番号 0120-232-711 (通話料無料)

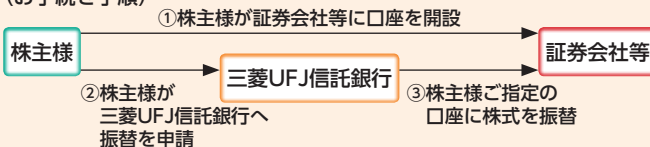
1. 株式に関する各種手続き

- 株式に関する各種手続き（住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求等）は、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録されている株式（証券会社等の口座に振替手続きがお済みでない株式）に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行で承りますので、上記連絡先（郵便物送付先及び電話照会先）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。

【ご注意】

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、三菱UFJ信託銀行の特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要があります。特別口座から証券会社等の口座への振替のお手続きにつきましても、三菱UFJ信託銀行で承ります。

（お手続き手順）



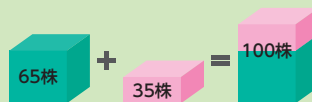
2. 単元未満（100株未満）株式をお持ちの株主様へ

単元未満株式はそのままでは株式市場で売買できませんが、株主様は、当社に対して買取り（株主様ご売却）あるいは買増し（株主様ご購入）をご請求いただけます。お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（上記1.（1）及び（2）ご参照）にお問い合わせください。なお、買取請求、買増請求の手数料は無料となっております。

①買取制度：ご所有の単元未満株式を当社が市場価格で買取らせていただく制度です。

②買増制度：ご所有の単元未満株式と併せて1単元株式（100株）となるように、株主様に当社から不足分の株式を市場価格でご購入（買増し）いただく制度です。

（具体例）株主様が現在65株をご所有の場合、当社を通じて35株をご購入いただき、合計100株とすることができます。



3. 株主総会資料の電子提供について

会社法改正により、株主総会資料（招集ご通知）は原則としてウェブサイトに掲載して提供いたします。事業報告等を含む株主総会資料一式の書面での交付を希望される場合は、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社又はご自身の口座を開設している証券会社へお申し出ください。三菱UFJ信託銀行株式会社の窓口は次のとおりです。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-696-505（電子提供制度専用ダイヤル）

4. マイナンバーに関するご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きのため、株主様から、口座を開設されている証券会社等にお届いただく必要があります。本お届出等に関するご不明点等は、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

ホームページ「IR情報」はこちらから、
<https://www.mhi.com/jp/finance/>

三菱重工業株式会社